

高速印字と優れた速乾性

株式会社ウイル (三芳町)

高解像度紫外線硬化用インクジェットプリンターの新分野への販売

店頭に並ぶ衣料品や雑貨類などの商品に付いている下げ札。商品タグとも呼ばれ、ジーンズなら価格やバーコードはもちろん、サイズやどんな素材を使っているかといった情報が表示されている。

ウイル社製のUVインクジェットプリンター「PJ-600」は、様々な商品の下げ札やケアラベル、食品のパッケージなどに文字情報をプリントする目的で開発された印刷機だ。UV硬化インクは紫外線に

当てる瞬間に固まるため乾かす手間が不要。紙や布などの素材に印字した後、すぐ包装など次の工程に移れる。優れた速乾性で、従来のインクジェットにはできなかったフィルム系包材へのプリントも可能

にした。

下げ札や食品パッケージの印刷は一般的に、カーボン方式の印刷機が使われている。有機溶剤系のインクを使用するカーボン方式に比べ、UVインクは非有機溶剤のため環境にやさしい。

PJ-600の印刷精度は1インチ(25.4ミリ)の幅の中に600ドットを打てる600dpiで、300dpiのカーボン方式の2倍の鮮明さ。印刷速度も1分当たり

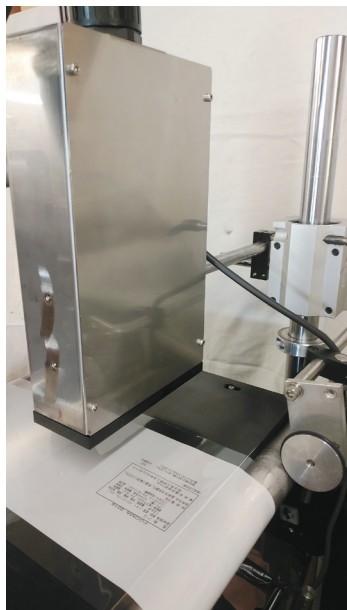
50メートルと、速くても1分に20メートルのカーボン方式の3〜4倍の性能を誇る。

さらにカーボン方式が印字部分以外のカーボンフィルムが無駄になるのに対し、PJ-600は印字部分にしかインクを使わずランニングコストは半分以下。印字データはパソコンで作成できるため1枚から刷れる上、ロットごとに印字する数字のカウントを変

更することもできる。

下げ札には商品情報の入ったICチップが封入されているものがあるが、PJ-600はプリントと同時に情報を入力する機能も付いている。

現在はアパレルや食品関係が主な取引先。山田和男代表取締役は「これからは建材メーカーなども視野に入れていきたい」と話している。



UVインクジェットプリンターPJ-600。印字幅は54ミリで二連すれば108ミリまで印字できる

「株式会社ウイル」

■本社 三芳町みよし台17の5

■代表者 代表取締役 山田和男

■設立 2000年4月

■資本金 1660万円

■従業員数 14人

■電話番号 049(277)8940

「メモ」 機械の専門商社で主にプリンターを扱っていた飯田雄会長と山田社長が独立し、朝霞市で設立。2008年に現在地に移転した。PJ-600はプリンターとしては同社初の製品。